

(施設所管課記入様式)

大東市立市民会館 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】大東市立市民会館

【指定管理者名】太平ビルサービス大阪株式会社

【評価対象年度】令和3年度

【施設所管課名】市民生活部 市民政策課

業務内容について評価

昨年度に引き続き令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館や開館時間短縮を実施したため、大変厳しい状況でしたが、新型コロナウイルス感染者数が減少に転じた夏以降、徐々に利用者も増え利用収入も増加しました。

年度当初予定していた自主事業は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期又は中止となりましたが、感染者数が落ち着いた12月にクリスマスコンサートを実施した際には、予約開始から間もなく定員に達し、大盛況にて終了したことは評価に値します。しかし、1月以降の自主事業については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会状況により中止を決定したイベントがあることは残念です。

施設の維持管理では、休館となった期間を利用して、指定管理者の提案により特に壁面の損傷が激しかった2室の会議室(401・403会議室)について補修修繕を行い、より快適に利用できる会議室となり、施設の利用環境を向上させる細やかな配慮がなされています。

コロナ禍ですが、利用者が安心して施設を利用できるよう、会議室の定員減、清掃・消毒の徹底、利用時の換気、来館者への検温・マスク着用・手指の消毒の協力依頼、抗菌・抗ウイルステープの設置などを昨年から引き続き実施し、常に利用者のことを考えた施設運営に取り組んでいることを高く評価します。

利用者満足度について評価

市民会館の印象について、令和3年12月10日から令和4年3月20日にかけて実施されたアンケート結果では、「満足」「やや満足」「普通」が多く、利用者には大きな問題なく利用いただいているが、「やや不満」「不満」の回答もあるので、順次改善いただきたい。

収支状況について評価

令和4年3月までの利用収入が30,763千円、令和3年3月までの利用収入が28,225千円で、前年比2,538千円（約8.9%）増となっています。新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの自粛傾向が少しずつ緩和されています。今後は、新たに整備したWi-Fi環境を活用するなどの新たな事業展開や利用者獲得に向けての運営を期待します。

総合評価

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館や開館時間短縮措置により、利用者の予約キャンセルやイベントの開催自粛など、施設を運営するにあたり厳しい状況が続きました。しかし、コロナ禍において、昨年引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、市民が「安全・安心」に利用できる会議室・ホールを継続して提供していることは、高く評価します。

令和4年度からは全会議室・ホールでWi-Fiが活用できることに伴い、インターネット通信を駆使した新たな事業の展開が考えられます。市内だけでなく、市外の個人・団体にも広報することを意識いただき、新規顧客の開拓などを含め、会館利用率の一層の向上に努めてください。

今後、新型コロナウイルス感染症の収束後であっても、コロナ禍以前とまったく同じ社会に戻らない可能性があります。「新しい生活様式」にも適応した会館の利活用について、経営手腕を発揮していただくことを期待します。